

郷土資料の散歩道

図書館郷土資料室

☎21-6111 内線6201

坂家寄贈文書

蒲生家臣から上杉家臣へ
坂家が伝える様々な文書群

今回は市立米沢図書館の寄贈・寄託文書中の「坂家寄贈文書」を紹介します。昭和四十六年、坂家の子孫の方から図書館へ寄贈していただいた文書群です。

坂家の先祖、坂次郎右衛門正秀は、元は会津の蒲生家に仕えていた武士で、慶長十九年（一六一四）に蒲生家を離れ米沢藩上杉家の家臣となりました。以後坂家は中級家臣団の与板組に属し、明治維新まで続きました。幕末には著

名な漢学者坂蘭溪を生んでいます。

この文書群には蒲生家臣時代の知行目録や秀吉の朝鮮出兵に関わる書状等が含まれ、貴重な史料となっています。また、会津時代や米沢時代に伝授された様々な伝授書・免許状が多いのも特色です。

珍しい料理・生花の伝授書

図1は慶長十一年一月三日に青田宗兵衛重治から坂次郎右衛門に授けられ



▲図1 鯛の各名称を記した料理の伝授書「鯛目処」

た料理の伝授書の一つで、鯛の各部位の名称が詳しく書かれています。このほか、同日付の俎・刀（包丁）の伝授書や、雁・雉・鮭・鱈等の名称を記した「目処」書があります。坂に伝えた青田と、青田に伝授した赤沢伊豆守なる人物は不明ですが、古式料理（包丁術）の一流派のものと思われる。

また、図2は慶長十三年に笠間大膳より坂次郎右衛門に伝授された池坊流華道の伝授書です。「永禄七年甲子池坊専応下向の時分」から始まり、四十二か条にわたる決りと池坊系図が記されています。

この笠間大膳についても不詳ですが、江戸初期の華道伝授書は大変珍しが、



▲図2 華道の伝授書（部分）

いものです。池坊宗家に伝わる系図とは異なる部分も多く、内容等について検討が必要ですが、華道の歴史にとって重要な資料であると思われます。

坂家には、他にも鉄砲・弓術・剣術・馬術といった武術関係や馬医の伝授書が数多く伝えられています。こうした諸芸に通じ、文化教養のある武士が米沢藩に迎えられたことも注目されます。

なお、郷土資料展（2月4日（金）～13日（日））置賜総合文化センター（展示室）では「郷土資料の散歩道」で紹介した貴重な資料を展示します。この機会にぜひご覧ください。

郷土資料の小径

市立米沢図書館では、「坂家寄贈文書」のように、市内各家々から寄贈あるいは寄託を受けた古文書を多く所蔵し、保存・整理及び利用に供しています。現在、寄贈文書は51件、寄託文書は9件で、その多くは米沢藩家臣団に伝来した古文書ですが、医師や商人、農家の資料もあります。

古文書が見つかった時、古文書の保存に心配な場合は、お気軽にご相談ください。